

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第2年度分

## 1 事業者の概要

事業者の名称	西濃運輸株式会社
市内代表事業所の名称	西濃運輸 仙台支店
市内代表事業所の所在地	仙台市宮城野区港2-1-7
主たる事業	道路貨物運送業
事業者の該当要件	条例第2条第5号イに該当する特定事業者
	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者
	○ 条例第2条第5号ハに該当する特定事業者
	条例第15条第1項に該当する一般事業者
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	環境基本方針 『物流を通じて、お客様に喜んで頂ける最高のサービスを常に提供し、国家社会に貢献するとともに企業市民として地域環境保全に積極的に取り組みます』

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	3,171 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.5916
	目標年度	2025 年度	目標排出量	3,075 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.5738
			削減率	3.02 %	削減率	3.00 %
			非化石エネルギー自動車割合			%
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	3,265 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.6215
			削減率	-2.97 %	削減率	-5.06 %
			非化石エネルギー自動車割合			0 %
	排出量等の増減理由		継続したエコ安全ドライブの実践により前年と比較し9か月間は燃費改善できたものの、7～9月は前年より気温が高かったため、特に日中に稼働する集配車両においてはエアコンの使用頻度が増え燃費が悪化した。結果、全体として昨年度より1.63%燃料使用量が増えた。			
	第2年度	2024 年度	排出量	3,159 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.6862
			削減率	0.37 %	削減率	-16.00 %
			非化石エネルギー自動車割合			0 %
	排出量等の増減理由		輸送ルートの効率化により車両台数がほぼ変わらない中、車両ごとの走行距離は削減できている。一方で燃費については、平均気温が高い日が続いた夏季を中心にエアコンの使用頻度が増加したが、継続した取り組みを実施したことで、年間としては1.68%の削減につながった。			
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石エネルギー自動車割合			%
	排出量等の増減理由					

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	昨年同様、車両別燃料管理を毎月実施し、エコ安全ドライブの励行をした。
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	昨年同様、車両別燃料管理を毎月実施し、エコ安全ドライブの励行をした。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	燃費向上のための装置等の計画的導入		実施済
	エコドライブの管理		実施済
	モーダルシフトの推進		実施済
	効率的な自動車運用のためのシステム導入		実施済
	空調設定温度の管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001を2002年3月5日取得済み	
	廃棄物削減対策の実施	繰り返し使用できる強化段ボールや、梱包資材不要のボックスを使用するなど、物流資材の廃棄量削減に努めている。また、ストレッチフィルムや木製パレットの再資源化を進めている。	